

発行／広島県印刷工業組合 発行人／中本 俊之
広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954
URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



中国地区印刷協議会より

印刷業界の未来へ向けた全印工連の施策

会長 瀬田 章弘

第2回 常設委員会合同開催

2026印刷産業夢メッセ開催告知ポスターの募集

JPPS認証取得インタビュー

株式会社原色美術印刷社 代表取締役 田尾 直也 氏

ブリップレス技能士(DTP)検定を受検して

株式会社ニシキコネクト 新宅 直子氏

第69回広島県印刷優勝野球大会

備後支部だより

事務局だより

惜しまれつつ広島城閉館 桜の季節、再建に期待高まる

広島城天守閣が3月22日、老朽化と耐震性の課題から66年の歴史に幕を下ろし、惜しまれつつ閉館した。最終日には多くの市民や観光客が訪れ、長年親しまれてきた姿に別れを告げた。広島城は、戦国大名・毛利輝元が1589年に築いた平城であり、広島の都市形成の発点となった歴史的象徴である。しかし1945年、原子爆弾の爆風により天守閣は一瞬で崩れ落ち、広島の歴史を語る重要な文化財が失われた。1958年に鉄筋コンクリートで再建された現天守は、展示環境の限界や耐震基準の不足が指摘されており、市は史実に基づく木造天守の再建を進める方針を示している。再建計画では、江戸初期の姿を可能な限り忠実に復元しつつ、内部には最新の展示設備やバリアフリー化を導入する。完成まで数年を要する見通しで、広島の新たな歴史拠点として期待が高まっている。

閉館後も、城周辺では桜が見頃を迎え、堀沿いの花々が訪れる人々を包み込むように咲き誇っている。春の風景は、天守が姿を消した寂しさを和らげるとともに、再建への希望を象徴するかのようだ。

印刷業界の未来へ向けた 全印工連の施策

全日本印刷工業組合連合会

会長 瀬田章弘

私からは、印刷業界のこれからの方向性と、全印工連が進める施策についてお話しします。

夢メッセでお伝えした内容をさらに深め、全国で説明しているところですが、今日は資料にない“おまけ”も交えてお届けします。

■日本経済の現状と「デジタル赤字」という危機

まず、日本経済の現状を押さえる必要があります。日本は「貿易立国」とわれがちですが、実際には貿易・サービス収支は6兆円の赤字。インバウンドで稼いでも追いつきません。一方で、NISAやiDeCo大企業の海外収益による第一次所得収支は41兆円の黒字。これに支えられ、経常収支は30兆円の黒字を保っています。しかし、問題はデジタル赤字(約8兆円)。iPhone、Windows、Netflixなど、デジタルサービスの利用料が海外に流れ続けています。

経産省は、この赤字が2035年に45兆円へ拡大すると警告しています。AIの普及で海外依存がさらに強まるためです。もし経常収支まで赤字化すれば、日本経済は極めて危険な状態になります。つまり、我々の猶予はあと9年です。

■高市内閣の成長戦略と「17分野」

こうした危機感のもと、高市内閣は海外で稼げる産業に重点投資する17分野を示しました。

- ・お客様が17分野に該当するなら大きなチャンス
- ・該当しなくても、サプライチェーンに関わる企業を探せば機会はある
- ・地域に大企業が少ない場合は「ローカルゼブラ」として地域課題を解決する企業へ

■全印工連は「儲かるためのプラットフォーム」

企業は儲けなければ社員を幸せにできず、地域にも貢献できません。全印工連は、皆さんが儲かるための仕組みづくりを最優先にしています。

- ・儲からない事業はやらない
- ・70以上の施策を展開
- ・すべて「利益」と「持続可能性」につながるものに限定

■印刷業界の現実：既存モデルは限界に

印刷情報用紙の出荷量は3年前から減少が続き、2024年は5～6%減。2025年もさらに落ち込む見通しです。業界は「二極化」と言われますが、実際にはこうです。



- ・上位25%：+5.9%
- ・下位75%：-1.7%

差を生む最大要因は**固定費の差**。効率化か、値上げか。最近では**値上げできる会社が伸びている**と分析されています。

■全印工連の3本柱

1. 取引の適正化
2. 価格転嫁
3. DX・業態変革と価値協創

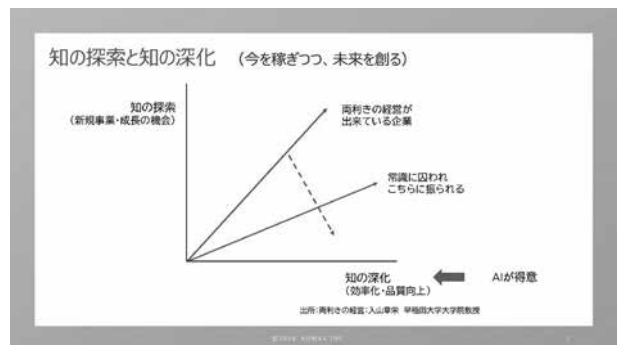


■両利きの経営：改善と挑戦の両立

入山章栄先生が紹介する「両利きの経営」では、

- ・知の進化（改善・効率化）
- ・知の探索（新規事業・新価値創造）

の両立が必要だと説かれています。AIが進むほど、改善だけでは差別化できません。中小企業こそ、知の探索に挑戦しやすいのです。



■価格転嫁の成果と契約書改革

全印工連の働きかけにより、価格転嫁の重要性は**骨太の方針**に明記されました。さらに、経産省監修の**新しい契約書雛形（民間版・官公庁版）**もまもなく公開されます。官公需の価格下落問題についても、引き続き強く働きかけていきます。



■需要対策の“一丁目一番地” CSR 戦略

CSRは「社会貢献」ではなく、**企業が選ばれるための戦略**です。マイケル・ポーターも、成熟社会ではCSRが差別化の軸になると述べています。

▶守り：人材確保

若い世代はCSRに敏感で、理念のない会社には来ません。2040年には1100万人の労働力不足が予測されており、CSRは採用の生命線です。

▶攻め：差別化と新規需要

滋賀県のアイズ社は、琵琶湖保全を軸にCSRを展開し、「多少高くても選ばれる」企業へ成長しました。

■サステナビリティレポートの需要急増

上場企業だけでなく、中堅企業でもレポート作成が必須に。しかし「作れる会社がない」という状況です。ここに**巨大な市場の空白**が生まれています。全印工連のCSR認証(1~3スター)は、自社のCSR戦略を自然に設計できる仕組みになっています。

■環境対応は“取引継続の条件”に

プライム市場では、来年から**スコープ3のCO2排出量開示が義務化**。印刷会社が排出量を出せないと、サプライチェーンから外される可能性があります。全印工連は排出量算出システムを開発し、カーボンクレジットの共同調達も進めています。

■「ビジカボ」：CO2排出量の見える化

A4・16ページ・1万部のCO2排出量がすぐに計算できるなど、見積もりと同じ感覚で環境情報を提示できる時代になります。

■ローカルゼブラ：地域課題を解決する企業へ

地域の課題を解決できるのは、行政・企業・住民とつながる**印刷会社**です。地域を良くし、自社も収益を得る“無尽蔵のチャンス”があります。

Mission

想いを可視化し、届くかたちに

ブランディング、マーケティング、クリエイティブ、プリンティングで人の想いをつなぎ、幸せを創造します。

U-POST 株式会社ユニバーサルポスト
〒733-0833 広島市西区商工センター7丁目5-52
TEL.082-277-5588 FAX.082-277-1163
U-POST <https://www.u-post.co.jp>

■紙育・ペーパーサミットジャパン

紙の魅力を伝えるイベントを、**大手企業の販促担当が来場する商談の場**として開催します。

■XI (体験価値) 戦略

物の価値は頭打ちでも、体験価値には無限の可能性ががあります。印刷物に“体験”を乗せることで、新しい価値が生まれます。

■AI・DXは人手不足時代の必須戦略

AI研究会には80社が参加。AIは企画の下書きまでしかできず、“顧客に刺さる企画”は人間にしか作れません。だからこそ、印刷会社の価値が高まります。

■J-Connect / E-Connect

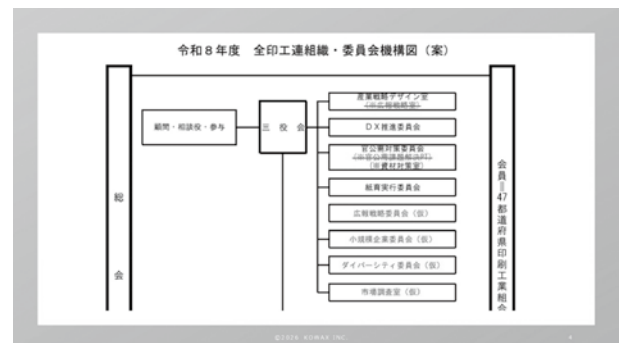
全国で活用すれば、**日本最大の印刷プロユースサイト**が誕生します。

■人材確保：業界の魅力を発信

大手印刷会社は今も人気。つまり、中小印刷会社の魅力が伝わっていないだけです。デジタルハリウッドと連携し、若い世代向けの動画を制作。SNSで発信していきます。

■新たな委員会の設置

- ・戦略広報委員会
- ・小規模企業対策委員会
- ・ダイバーシティ委員会
- ・市場調査室



■最後に

今年も70を超える価値競争施策を展開します。「人のためにやることは、巡り巡って自分のためになる」。その思いで、私も先頭に立って取り組んでまいります。どうぞご協力をお願いいたします。

オリジナルクリアファイル&ノベルティの印刷通販

サンプリ

<https://www.sanprilab.jp>

三和綜合印刷 株式会社

〒721-0952 広島県福山市曙町6丁目1-11
TEL.084-953-1969 <https://sanwasp.com/>

第2回 常設委員会合同開催 各委員の仲間27名が集まり開催

令和7年度下期中国地区印刷協議会(2月24日広島市開催)を受け、本年度第2回目の各委員会が3月4日(水)午後3時40分から、広島印刷会館会議室において開催された。

この委員会は、所属支部間を越えた組合員同志が、意見を交わし親睦を図り、交友を増やし信頼を増す場であり、この厳しい経済情勢の中どのようにして乗り切るか、また、お互いの業態変革は如何にしているかなど、相互啓発を目的としたもので、まさに組合の原点です。

各委員会の内容等は、4月号にて掲載済み、内容は同じなのでそちらを参考としてください。

経営革新マーケティング委員会



市川 田中 竹廣 丸林 瀬尾(淳)
児玉 宇都宮 前本 (敬称略)

サステナビリティ・CSR委員会



島田 小田 上重 後藤
(敬称略)

組織活性化委員会



青木 花田 石井 大倉 大東 当田 須川
薬師寺 田尾 中本 永田 (敬称略)

教育研修委員会



増田 堀内 宮崎 坂井
(敬称略)

開催告知ポスター募集のお知らせ

2026年10月30日(金)・31日(土)に開催される「2026印刷産業夢メッセ」の開催告知ポスターを広く募集します。今年のテーマは「見つけよう。伝えよう。印刷の可能性」です。印刷の魅力、紙の表現力、技術の進化、そして未来への可能性を自由な発想で表現した作品をお待ちしています。

■ 募集概要

1. テーマ: 「見つけよう。伝えよう。印刷の可能性」
2. 使用目的
2026印刷産業夢メッセの開催告知ポスターとして、広報物・Webサイト・SNS・会場装飾などに使用
3. 開催日: 2026年10月30日(金)・31日(土)
4. 会場: 広島ガーデンパレス
5. 賞
・グランプリ 1点 公式ポスターとして採用・表彰
・準グランプリ 2点、佳作 数点

■ 応募資格

プロ・アマ問わず、どなたでも応募可能。

■ 応募方法

・A2サイズ縦型ポスターをプリントアウトして提出

印刷産業の現在と未来と夢を語り合う情報交流の場

第20回『2026印刷産業夢メッセ』開催告知ポスターの公募

広島県印刷工業組合及び印刷関連団体では、10月30-31日(金・土)の2日間、「広島ガーデンパレス」において、第20回『2026印刷産業夢メッセ』を開催いたします。
この夢メッセは、これからの印刷産業の進めるべく、各種新技術を実現した機材、研究中の情報等を、各メーカー・ベンダーさんにセミナーをしていただき、共に現在、明日、未来そして夢を語り合う情報交流の場を作り、印刷関連業界各社の経営(業態変革)の一助としたいという目的で開催されるものです。

【応募要領】

1. 応募資格: 広島県印刷工業組合員及び印刷関連団体並びに大学・専門学校に在籍の学生各名
2. 作品: A2サイズで縦書きの原寸をプリントアウトしお送りください
なお、応募された作品は返却しません。入賞作品の著作権は組合に帰属するものとします
3. 使用色: 片断4色(デザインによって1色や2色、4色でも可)

4. 記入必須項目

- ①名称: 第20回2026印刷産業夢メッセ
- ②会期: 10月30日(金)、31日(土)
- ③テーマ: 「見つけよう。伝えよう。印刷の可能性」
- ④会場: 広島ガーデンパレス 〒732-0052 広島市東区光町二丁目15-21
- ⑤主催: 広島県印刷工業組合・中国印刷機材協議会
- ⑥主管: 2026印刷産業夢メッセ実行委員会
- ⑦協賛: 広島県洋紙商連合会、広島県製本工業組合、中国グラフィック・コミュニケーション工業組合、日本グラフィック・7工業会広島支部、中国地区印刷協議会
- ⑧『夢』のロゴ: 下記の11項目参照

Tel.082-262-1122
Fax.082-262-5270

5. 使用素材: 自由(縦書き)
6. 応募作品: 自作で未発表のオリジナル作品限定
7. 応募方法: 事務局宛に必要な事項を記入の上、ご郵送ください
記入事項は、①応募者氏名 ②社名・学校名 ③連絡先 ④作品テーマ(制作意図)
⑤使用OS ⑥制作ソフト(バージョン記入) ⑦使用書体名
注①メールと会社電話番号を記載のこと
②制作意図は、作成にあたっての思い、考え方を200字程度で記入のこと
③特にAIソフトを使用した場合は、詳細を記入のこと(著作権侵害のないこと)
8. 応募締切: 令和8年5月26日(火) “必着”
9. 賞: グランプリ 1点(商品券5万円)、準グランプリ 2点(商品券各2万円)、佳作 数点(商品券3千円)
10. その他: 採用ポスターについては後日データの提出をお願いします。
11. 『夢』のロゴ

注、ロゴのデータは下記の組合にありますので以下問い合わせにご連絡ください
ご連絡は下記メールアドレスをお願いします



お問い合わせ 広島県印刷工業組合内 Mail: hinkumi@estate.ocn.ne.jp
住所:〒733-0035 広島市西区南観音一丁目1-22
TEL:082-293-0906 FAX:082-293-0954

JPPS 認定取得インタビュー

株式会社原色美術印刷社 代表取締役 田尾直也



並行して進めなければならないという負担はありました。しかしこのことは、**会社の基盤を強くするための投資と捉えています。**

1. なぜ認定を取得しようと思ったのか？

信頼性を“見える形”で示すために

当社では以前から、品質管理や情報管理を重要な経営テーマとして取り組んできました。しかし、社内ですべて努力しても、外部から客観的に評価されなければ、お客様に十分伝わらないという課題がありました。その中で、印刷業界に特化した第三者認証であるJPPS (Japan Printing Privacy System) を知り、「当社の取り組みを見える形で証明できる」と感じたことが取得の大きなきっかけです。また、個人情報を扱う印刷物が増える中で、**取引先からの信頼性をさらに高める必要があったことも理由の一つです。**

2. 取得において苦労した点は？

“当たり前”を文書化し、全員で徹底する難しさ

最も苦労したのは、**社内ルールの明文化と運用の徹底**です。これまで「当たり前をやっていたこと」も、認定取得のためには手順書として文書化し、誰が見ても同じように運用できる状態にする必要がありました。特に、

- ・個人情報の取り扱い手順
- ・入退室管理
- ・データ消去の記録

といった部分は細かい見直しが必要でした。また、社員全員の意識を揃えるための教育にも時間を要しました。「なぜ必要なのか」を丁寧に説明し、理解してもらうことが重要でした。

3. 費用的な面の課題は？

金額よりも“時間的コスト”が大きい

JPPS は P マークに比べると取得費用は抑えられますが、**内部体制の整備にかかる“時間的コスト”**は決して小さくありません。特に最初の取得時は、書類作成、ルール整備、社員教育などの不慣れな業務を通常の実務と

4. P マークではなく、なぜ JPPS を選択したのか？

印刷会社に最適化された実務的な認定

理由は大きく3つあります。

▶印刷業界に特化した認定であること

印刷会社の実務に即した基準で、現場に落とし込みやすい。

▶取得・維持の負担が比較的軽いこと

P マークは範囲が広く、維持コストも高い。中小印刷会社にとっては JPPS の方が現実的。

▶取引先からの信頼性向上につながる

大手企業からの評価も高く、「印刷会社として必要な情報管理を満たしている」ことを示せる。

当社の規模や業務内容を踏まえると、JPPS が最も適した選択でした。

5. 取得による効果は？

信頼・意識が大きく向上

取得後の効果として、特に次の点を実感しています。

▶取引先からの信頼性向上

個人情報を扱う仕事に対して正しく管理が出来るようになりました。

▶社内の意識統一

ルールが明文化され、社員の個人情報保護についての意識が向上したことで、ミスやトラブルの防止につながっています。

6. 今後の展望は？

JPPS 取得はゴールではなく、スタートラインだと考えています。今後は、

- ・情報管理体制のさらなる強化
- ・デジタル印刷やデータ処理業務への対応
- ・地域企業との連携による新サービスの開発

など、認定を活かした事業展開を進めていきたいと思っています。

また、JPPS 取得企業として、**クライアント様への信頼性向上に努力していきたいと考えています。**

プリプレス技能士 (DTP) 検定を受検して

～そして、これから受検する皆さんへ～

株式会社ニシキコネクト

マーケティング事業部 次長 新宅 直子



私は大学卒業後、印刷会社（当時：株式会社ニシキプリント）に就職し、制作部門（DTP 課）へ配属されました。DTP とは「Desk Top Publishing」の略で、パソコン上で印刷物を制作する工程を指します。

私がこの『プリプレス技能士 (DTP)』という資格を知ったのは8年前です。会社が受検させてくださるということもあり、1級取得に挑戦しました。DTP は今や出版や広告の現場では欠かせない技術ですが、長く仕事をしていると日常業務の中で自己流で覚えた知識や技術、会社独自のルールなども多く、体系的に学ぶ機会はなかなかありません。また、社員以外で同業の方と接する機会がほとんど無かったため、自分の知識や技術は客観的に見てどの程度のものなのかわかりませんでした。そんな時にこの資格を知り、検定試験を通じて自分の実力を把握し、今後のスキルアップにつなげたいと考えました。

この資格は、元々は製版技術に関するものでしたが、DTP の環境の変化とともに作業の幅も広がり、資格の名称も「プリプレス」に変わりました。実技試験と筆記試験があり、受検するためには一定の実務経験が必要となります。

実技試験では、普段行っているオペレーションだけではできない作業もあり、新たなスキルを身につける機会にもなりました。決められた時間の中で作業を終えなければならず、緊張と焦りもありましたが、集中して作業を行い、乗り切ることができました。

筆記試験では、DTP だけでなく印刷に関する幅広い範囲を勉強する必要がありました。私は制作の現場で勤務していたので、DTP のデータ作成作業に関する知識以外のことにはあまり詳しくありませんでした。資格を取るために勉強していく中で、自分の担当する部署だけではなく、印刷工程・色の理論・著作権や関連する法律まで、データ作成だけではない印刷全般の知識が求められることがわかり、その幅広さに驚きました。しかし、これらを学ぶことで通常業務だけではな

かなか教わることの難しい基礎の部分の身につけられる機会となったことは間違いありません。この経験が、日々の実務の質を上げる結果につながったと思います。挑戦の結果、実技試験は一発で合格しましたが、筆記試験は範囲の広さに苦しみ、3度目の正直でやっと合格することができました。その後、社内の受検資格を満たすオペレーターが順番に受検していき、現在ではほとんどのオペレーターが1級を取得しています。

また、弊社では資格取得に伴い資格手当を支給する制度があります。この資格は手当基準の高ランクに位置するため、自己成長だけでなく社員のモチベーションアップにも繋がっています。

これからプリプレス技能士 (DTP) 検定を受検する方にお伝えしたいのは、この学びによって得るものは大きいということです。基礎知識と全体に関わる知識をバランスよく身につけられる良い機会になると思います。勉強方法としては、過去問題を入手することが可能ですので、それを活用することが最も効果的です。実技試験は試験官の説明をきちんと理解し、落ち着いて作業することを心がけることが大切だと思います。また、指示書は隅々まで良く確認してください。筆記試験では、過去問題にできるだけ多く触れることが大切です。ただ、同じ内容の問題でも出題の仕方が変わるため、きちんと理解していないと正しい答えを選択できません。特に用語の定義や工程の流れを整理しておくこと、応用問題にも対応しやすくなります。問題には新しい情報も取り入れられるので、業界の情報にアンテナを伸ばしておくことも合格への近道になると思います。

プリプレス技能士 (DTP) の資格は印刷業界の変化に伴い、資格自体のあり方が変わっていくことも必要ではないかと感じる部分はあります。ですが、この資格を取得することで業務の質の向上や自分自身の成長、また、自信にもつながると思います。ぜひ挑戦してみてください。

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

代表取締役社長

山田 周一郎

本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300
ホームページ <https://www.fujifilm.com/ffgs/ja>

SCREEN

印刷市場に革新をもたらす。



フルカラーバリアブルプリンティングシステム

Truepress JET 560HDX

株式会社 SCREEN GP ジャパン www.screen.co.jp/ga

中国営業所/082(264)6451

〒732-0824 広島県広島市南区的場町一丁目2-21 広島第一生命OSビル



第69回 広島県印刷優勝野球大会

抽選会が行われ、初戦の対戦カードが決定

第69回広島県印刷優勝野球大会の抽選会が4月3日(金)行われ、今年の予選リーグの組み合わせが決まった。当日は、広島県軟式野球連盟の審判長である上田さんにもご参加いただき、今季のルール改正点や注意事項について説明が行われ、選手の安全確保や大会の目的に沿って円滑に運営していく旨の説明があった。県内の印刷関連企業から9チームが参加し、白熱した戦いが期待される。

■日時と場所

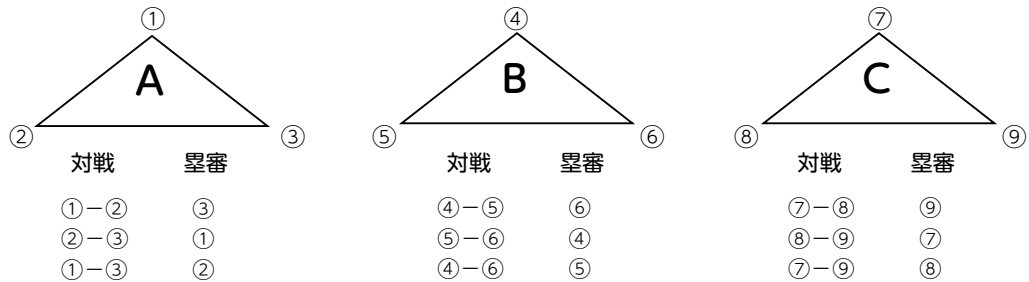
- ▶ 1日目：5月10日(日) 8:30～ 八木地区太田川グランド
- ▶ 2日目：5月17日(日) 9:30～ 草津公園野球場
予備日：5月24日(日)
- ※雨天の場合は場所等変更のため、大会要項を必ず確認のこと



■3チーム総当たりの予選リーグ

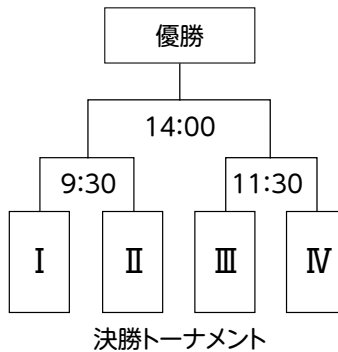
参加9チームは3組に分かれ、各組3チームによる総当たり戦で予選リーグを行う。各組の1位チーム(計3チーム)に加え、2位チームの中、得失点差等で最も良い1チームが決勝トーナメントへ進出する。抽選会では、各チーム代表が緊張の中でくじを引き、対戦カードが次々と決定。会場には「どのチームと当たるのか」という期待と緊張が漂い、今年も激戦が予想される。

●予選リーグ



■決勝トーナメントで優勝チームが決定

決勝トーナメントは4チーム(I~IV)によるノックアウト方式で行われ、勝ち上がったチームが決勝戦へ進む。頂点を目指す選手たちの真剣勝負は、毎年多くの熱いドラマを生み出している。昨年の雪辱を期すチーム、新戦力を加えて挑むチームなど、それぞれが目標を胸に大会へ臨む。印刷業界の交流の場としても貴重な本大会。選手たちの熱いプレーにぜひご注目ください。



①	株中本本店
②	富士フィルムビジネス イノベーションジャパン株広島支店
③	イケダ株Bチーム
④	中国新聞印刷株
⑤	イケダ株Aチーム
⑥	組合連合
⑦	株アドプレックス
⑧	瀬戸内海印刷株
⑨	広島洋紙株

**オートフィード
プラテンダイカッター
AeroDieCut**

デジタル技術で
従来の木型を
活用します。

株式会社 **ウチダテクノ**
〒540-8520 大阪市中央区和泉町 2-2-2 ☎06(6920)2460
〒812-0008 福岡市博多区東光 2-10-11 ☎092(476)5011
ホームページアドレス www.utecs.co.jp

Horizon
Change the focus

無人化との共存
FIRST TOUCH

Horizon Smart Factory 2026 in HIP
2026.10.28 WED - 30 FRI
10:00 - 17:00

株式会社ホリゾン 本社びわこ工場内 Horizon Innovation Park
(滋賀県高島市新旭町旭1600)

最新情報はこちら

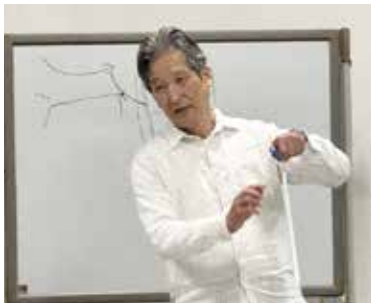
備後支部 4月例会

「ちょっとディープな箔押しの話」
スキルアップセミナー開催—

4月8日(水)、備後支部価値組委員会の4月(第261回)例会として、スキルアップセミナーを開催した。今回は、箔押し加工を専門とするイチカワ印刷(株)代表取締役・市川社長に、「ちょっとディープな箔押しの話」と題して、専門的な技術の世界をわかりやすく解説していただいた。

■箔の構造から見える“深すぎる”世界

市川社長のお話は、箔の基本構造の説明からスタート。箔は上から ①ベースフィルム②離型層 ③着色層



④蒸着層⑤接着層という層で構成されている。一見すると基礎知識のようだが、ここからがまさに“ディープ”。市川社長はあえて「接着層」から解説を始められ、その奥深さに参加者は一気に引き込まれた。接着剤には紙用・プラ用があり、紙用だけでも種類が多数。「表面が粗い紙には厚みのある接着層」「レザックのような硬い紙には専用の接着層」など、紙質に合わせた

選択が不可欠とのこと。さらに注意が必要なのが「黒い紙」。黒色を出すために使われるカーボンが紙中の酸素と反応し、箔に錆のようなまだら模様が出ることもあり、クレームにつながるケースもあるそうだ。まさに知れば知るほど奥が深い世界だ。



■良い仕事は“条件の共有”から

今回の話を通して、箔押し加工に限らず、仕事を進めるうえで「条件を正確に伝えること」「コミュニケーションを丁寧に行うこと」が、品質を左右する大切な要素であると改めて感じさせられた。市川社長は、実際の事例を交えながら具体的に説明してくださり、貴重な時間を参加者とともに過ごした。



事務局だより

◎ 組合のうごき

4月	6日	会館監査	印刷会館
	8日	夢メッセ事前検討会	印刷会館
	10日	組合会計監査	印刷会館
	16日	JPPS更新・中間講習会	Web会議
	20日	産業戦略デザイン室	Web会議
	23日	全印工連常任役員会	東京
	27日	夢メッセ三役会、第1回常任理事会 第1回拡大理事会、会館取締役会	印刷会館

5月	9日	東西対抗ゴルフ大会	久井カントリー
	10日	野球大会1日目	八木G
	11日	青年部総会	印刷会館
	17日	野球大会2日目	草津公園野球場
	20日	広島県印刷工業組合通常総会 広島印刷会館株主総会	リーガロイヤルホテル広島
	24日	野球大会(予備日)	八木G
	27日	全印工連常任役員会・通常総会	東京會館
	28日	中小印刷産業振興議員連盟総会 官公需対策委員会	東京

PAPERX
paper communication

KONOGAWA
PAPER CORPORATION

木野川紙業株式会社

広島本社 〒733-0833 広島市西区商工センター6丁目1-22 TEL (082)277-5411(代)
東京支店 〒135-0043 東京都江東区塩浜1丁目5-23 TEL (03)5632-0911(代)